

白岡市まち・ひと・しごと 創生総合戦略（案）



平成 27 年 12 月

白岡市

目 次

I	白岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に当たって	1
1	白岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定の目的	1
2	市総合戦略の位置づけ（白岡市総合振興計画との関係）と計画期間	1
3	基本目標の設定と検証の枠組み	2
II	市総合戦略の基本目標と施策の展開	3
1	市総合戦略の基本目標	3
2	基本目標の施策の展開	3
基本目標 1	住みたい、住んでよかったと感じるまちにする	4
基本目標 2	子供を産み育てる人の願いをかなえる	8
基本目標 3	職住近接によるゆとりある生活を実現する	12
基本目標 4	市民満足度の向上を図り地域への愛着を深める	15

I 白岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に当たって

1 白岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定の目的

白岡市の人口は、現在までは増加傾向にあるものの、国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）推計によると、平成32年以後は人口の減少傾向が始まると予測され、平成72年には、平成27年の50,795人から36,824人にまで減少すると見込まれています。

また、人口の減少に伴い、年少人口（0～14歳）が約半数となり、生産年齢人口（15～64歳）も39%減少する一方で、高齢者人口（65歳以上）は約11%増加するなど、急速な少子高齢化の進行が予測されています。

このため、市では、白岡市人口ビジョン（以下「市人口ビジョン」という。）を策定し、人口減少をめぐる問題に対して、市民との認識の共有を図るとともに、目指すべき将来の方向を提示し、人口減少に歯止めをかけることとしています。

白岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「市総合戦略」という。）は、市人口ビジョンの今後の基本的視点を踏まえた基本目標を位置づけ、地域の実情に応じた施策を展開していくことで本市の人口減少問題を克服し、将来にわたり活力ある地域社会の維持を図ることを目的としています。

2 市総合戦略の位置づけ（白岡市総合振興計画との関係）と計画期間

市総合戦略は、市人口ビジョンを踏まえ、今後の基本的視点である、「安心・快適に暮らせるまちづくり（定住人口の増加）」、「安心して子育てできるまちづくり（出生率の向上）」及び「まちに愛着を持ち、住み続けたいと感じるまちづくり（若者の転出の抑制）」の実現に向けた基本目標、施策及び取組を示すものです。

市総合戦略は、白岡市における人口減少の克服と将来にわたる活力ある地域社会の維持を目的としていますが、白岡市総合振興計画（以下「総合振興計画」という。）はこれらを含む白岡市の総合的な振興・発展を目的としたものです。

総合振興計画は、前期基本計画の計画期間が平成28年度までとなっており、同年度中に計画の見直しが行われることから、市人口ビジョンの基本的視点に関連する分野を市総合戦略において先行的に企画、立案及び実行し、その内容を総合振興計画へ反映することとします。

また、市総合戦略は、国、埼玉県の人口ビジョンと総合戦略及び市人口ビジョンを勘案

して策定するものとし、国の総合戦略と同様に平成27年度から平成31年度までの5か
年を計画期間とします。

なお、国の方針転換や施策の検証結果、社会経済動向の変化など、市総合戦略に影響を
与える要因があった場合には、適宜見直しを行います。

3 基本目標の設定と検証の枠組み

市総合戦略では、国の総合戦略が定める基本目標*1を勘案するとともに、市人口ビ
ジョンの基本的視点*2を踏まえて4つの基本目標を設定し、基本目標ごとに実現すべ
き成果（数値目標）を設定します。

各基本目標は、その達成に向けた施策の基本的な方向を示すとともに施策を推進す
る主な取組を明らかにし、各施策の効果を客観的に検証できる指標（重要業績評価指
標（KPI Key Performance Indicator））を設定します。

また、設定した指標等を基に、施策・取組の効果を「白岡市まち・ひと・しごと創
生有識者会議」において検証し、PDCAサイクルを踏まえて市総合戦略の見直しを
行います。

*1 国の総合戦略が定める基本目標

基本目標1	地方における安定した雇用を創出する
基本目標2	地方への新しいひとの流れをつくる
基本目標3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
基本目標4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

*2 市人口ビジョンの基本的視点

基本的視点1	安心・快適に暮らせるまちづくり（定住人口の増加）
基本的視点2	安心して子育てできるまちづくり（出生率の向上）
基本的視点3	まちに愛着を持ち、住み続けたいと感じるまちづくり（若者の転出の抑制）

Ⅱ 市総合戦略の基本目標と施策の展開

1 市総合戦略の基本目標

国の総合戦略が定める基本目標、市人口ビジョンの基本的視点や市の人口の動向・人口の将来推計及び市の社会特性を踏まえ、4つの基本目標を設定し、将来における活力ある地域社会を目指します。

基本目標1	住みたい、住んでよかったと感じるまちにする
基本目標2	子供を産み育てる人の願いをかなえる
基本目標3	職住近接によるゆとりある生活を実現する
基本目標4	市民満足度の向上を図り地域への愛着を深める

2 基本目標の施策の展開

本市では、現在も人口の増加傾向が続いておりますが、今後予測される人口減少に対応し、将来における活力ある地域社会の実現を図るためには、市民のニーズの的確な把握、市民、企業、大学等の人材、知見、ネットワークの活用、また、県・他市町との事業連携などを積極的に進めていくことが必要不可欠です。

このようなことから、市総合戦略の施策及び取組は、「**コラボレーション～手をつなぎ協働と連携の地域づくり～**」をメインテーマとして、市民との協働及び企業、大学等との連携を積極的に推進しながら展開していきます。

基本目標 1 住みたい、住んでよかったと感じるまちにする

【基本的な方向】

本市では、昭和62年の新白岡駅の開業や複数の土地区画整理事業の進展などにより、現在も人口の増加傾向が続いています。

しかしながら、本市においても近い将来には人口が減少傾向となることが予測されていることから、「定住人口」の増加に向けて、住みたい、住んでよかったと感じることができ、まちづくりを目指していく必要があります。

そこで、市の特長である豊かな自然環境に配慮しながら、生活利便性の向上に資する都市基盤の整備や公共施設の整備を進めていきます。

また、首都圏中央連絡自動車道（以下「圏央道」という。）の開通などによる高い交通利便性を生かした新たな土地利用の検討を行い、日常生活の利便性の向上に資する施設などの充実を図ります。

【基本施策】

- 基本施策 1－1 魅力あるまちの創出
- 基本施策 1－2 生活利便性の向上

【数値目標】

指標名	現状	目標
年平均転入者数（5年間の年平均）	2, 168人 （平成26年度）	2, 200人
白岡市から転出したいと考えている人の割合	32. 1% （将来設計に関するアンケート調査）	25%

基本施策 1 - 1 魅力あるまちの創出

【基本施策の方向性】

子供から高齢者まで、誰もが住みたい、住んでよかったと感じるまちの魅力を創出します。

【主な施策と取組】

施策名	施策の概要と主な取組	
まちの魅力の向上	誰もが住みたくなる魅力あるまちを創出するため、市民が集い交流できる公共施設の整備を進めるとともに、商業施設や産業・研究施設等の誘致を図ります。また、まちの活性化を図るため、学生等との協働や他市町との連携によるまちづくりを進め、まちの魅力の向上に努めます。	
	主な取組	○白岡中学校周辺区域における土地利用の検討 ○生涯学習施設の整備と活用 ○大学及び高校との連携の推進
自然の維持・保全と美化活動の推進	市民団体等との連携・協力により、自然の維持・保全や生活環境の美化を図り、市民が豊かな自然に恵まれた、良好な環境で生活できるように努めます。	
	主な取組	○市民団体等と連携した地域美化活動の実施
安全な暮らしの確保	市民が安心・安全に暮らせるよう、地域と行政が連携して防災、防犯、交通安全に関する活動の推進を図ります。	
	主な取組	○自主防災組織の育成・支援 ○防犯パトロールの促進
地域で健康に暮らす環境の充実	誰もが、住み慣れた地域で安心して健康に暮らし続けるため、市民が、生きがいを持ち、主体的に健康づくりに取り組む環境の充実を図り、健康寿命の延伸に努めます。 また、医療機関との連携により、市内における初期救急医療体制の充実を図るとともに、地域包括ケアシステムに関する体制の整備を図ります。	
	主な取組	○はぴすシティプロモーションの推進 ○市内における初期救急医療体制の充実 ○地域包括ケアシステムの構築

【重要業績評価指標（KPI）】

指標名	現在値	目標値
大学との連携事業数（５年間の延べ数）	０事業（新規の取組）	１０事業
自主防災組織の組織率	７９．４％ （平成２７年５月）	８５％
はぴすイッチ宣言* ^３ 者数（５年間の延べ人数）	１０２人 （平成２７年１０月）	５００人

* ３ はぴすイッチ宣言：個人・団体が健康に関連する取組について宣言書を提出して、健康行動を実践していく活動のこと。

基本施策 1 - 2 生活利便性の向上

【基本施策の方向性】

誰もが暮らしやすい、生活利便性が高い住環境の創出に努めます。

【主な施策と取組】

施策名	施策の概要と主な取組	
利便性の高い住環境	良好な住環境の創出のため、都市基盤整備の推進を図ります。 また、駅等の拠点施設と地域や地域間を結ぶ利便性の高い道路整備を進めます。	
	主な取組	○白岡駅西口地域の整備推進 ○都市計画道路白岡宮代線の整備推進 ○白岡駅東部中央土地区画整理事業の推進
身近な公園の整備と活用	子供から高齢者まで、それぞれの世代が安心・快適に利用することのできる特色のある公園の整備及び市民との協働による維持管理を推進し、地域住民に親しまれる公園を目指します。 また、企業や大学等と連携し、公園施設を活用した事業の推進を図ります。	
	主な取組	○市民協働による公園の維持管理 ○白岡市総合運動公園を利用した運動機能の向上を目的としたイベントの開催
利用しやすい公共交通サービスの充実	利用者のニーズに対応した公共交通サービスの提供により、市民の移動手段を確保し、交通不便地域の解消や市民の外出の促進を図ります。	
	主な取組	○地域公共交通サービスの充実

【重要業績評価指標（KPI）】

指標名	現在値	目標値
都市計画道路の整備率	70.9% (平成26年時点)	74.4%
白岡駅東部中央土地区画整理事業の進捗率	55.2% (平成27年時点)	74.1%
のりあい交通の一日当たりの平均利用者数	22.6人 (平成27年時点)	40人

基本目標 2 子供を産み育てる人の願いをかなえる

【基本的な方向】

本市では、積極的な子育て支援や子育てしやすい環境の整備を進めてきたことにより、30代、40代の子育て世代の転入者が多くなっておりますが、今後も、若者が住み、子供を産み育て、教育を受けさせたいと思う環境づくりを進めていく必要があります。

そこで、若者が安心して子供を産み育てることができるように、妊娠から子育てまでの総合的な支援の充実を図ります。

地域における子育てしやすい環境づくりを進めるとともに、働きながら安心して子育てができるよう、保育サービスの充実などによるワーク・ライフ・バランス^{*4}の取組を支援します。

^{*4} ワーク・ライフ・バランス：個人が仕事上の責任を果たしつつ、結婚や育児をはじめとする家族形成のほか、介護やキャリア形成、地域活動への参加等、個人や家族がライフステージに応じた希望を実現できるようにすること。

【基本施策】

基本施策2-1 出産・子育て等に対する支援

基本施策2-2 子育てしやすい環境の充実

【数値目標】

指標名	現状	目標
合計特殊出生率 ^{*5}	1.40 (平成26年)	1.60

^{*5} 合計特殊出生率：15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に産むとしたときの子どもの数に相当する。

基本施策 2 - 1 出産・子育て等に対する支援

【基本施策の方向性】

若者が、安心して妊娠、出産、子育てができるように経済的な支援に努めます。

【主な施策と取組】

施策名	施策の概要と主な取組	
子育て家庭への支援	子供を産み育てようとする家庭を支援するため、妊娠から子育てまでの経済的な支援の充実を図ります。 また、市内に転入して子育てを行おうとする家庭に対する経済的支援の検討を行います。	
	主な取組	○不妊治療費の助成 ○新生児誕生をお祝いする記念品の贈呈 ○ベビーベッドの貸出 ○こども医療費の拡充の検討 ○多子世帯に対する保育料の軽減

【重要業績評価指標（KPI）】

指標名	現在値	目標値
出生率（人口千人に対する年間出生数の割合）	8.2 （平成26年）	10

基本施策 2 - 2 子育てしやすい環境の充実

【基本施策の方向性】

子育てしやすい環境づくりを進めるとともに、働きながら安心して子育てができるよう、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組を推進します。

【主な施策と取組】

施策名	施策の概要と主な取組	
子育て環境の整備	市民団体、市内企業との協働・連携により、まちぐるみの子育て活動を推進します。 切れ目ない子育て支援を行うため、子育て世代を包括的に支援する体制の整備を行うとともに、妊娠、出産、子育てに係る身体的、精神的な支援を行うため、母子保健サービスの充実を図ります。 また、仕事、家庭、子育てなどを両立できるよう、保育サービスの一層の充実を図るとともに、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組を推進します。	
	主な取組	○子育て世代包括支援センターの設置の検討 ○「町ぐるみん白岡*6」の活動の推進 ○保育所の完全給食の実施 ○ブックスタート*7の実施検討
教育環境の充実	市の将来を担う子供たちの豊かな人間性が育まれるよう、学校、家庭、地域が連携した教育活動を推進します。 学校応援団を活用し、各学校の学習活動、安心安全の確保、環境整備等について、地域による組織的支援の充実を図ります。 また、補助員、相談員等を各学校に適切に配置するとともに、教育支援センターの支援体制を整備し、児童生徒の学校生活や不登校児童生徒等に対する支援の充実を図ります。 さらに、市内小中学校における学習環境の向上を図るため、学校施設の整備・改修を進めます。	
	主な取組	○学校応援団の運営支援 ○教育支援センターにおける児童等の支援 ○小中学校施設の整備・改修

* 6 町ぐるみん白岡：子ども会、スポーツ少年団、学校応援団、家庭教育アドバイザー、地元の企業など、子供と関わるたくさんの方々が、白岡市の子供たちの健やかな未来のために集まり、設立された市民団体のこと。

* 7 ブックスタート：絵本を介して赤ちゃんと保護者が心ふれあう時間を持つきっかけをつくる活動で、乳幼児検診等の機会に赤ちゃんや保護者に絵本の楽しさを体感してもらうとともに、絵本等をプレゼントする。

【重要業績評価指標（KPI）】

指標名	現在値	目標値
働きながら子育てがしやすいと感じている人の割合	11.8% (将来設計に関するアンケート調査)	20%
学校応援団の設置状況 (組織・活動の維持)	100% (平成27年)	100%
市立小・中学校校舎のトイレにおける便器の洋式化率	28.5% (平成26年)	50%以上

基本目標 3 職住近接によるゆとりある生活を実現する

【基本的な方向】

本市は、東京都やさいたま市等で働く人のベッドタウンとして発展してきたことから、職住の離れている人が多く、ゆとりを持って子育てや地域活動などができる環境が求められています。

このため、市民が安心して、ゆとりのある生活を送ることができるよう、新たな土地利用の検討を行い、市内における働く場の創出を図るとともに、若者の雇用の安定に向けた積極的な就職支援を行います。

また、農業従事者の高齢化や後継者不足により、年々耕作面積が減少しているなど、本市の重要な産業である農業を取り巻く環境が厳しさを増していることから、さらなる農業の振興を図る必要があります。

そこで、6次産業化^{*8}の推進など魅力ある農業の振興を図り、農業後継者や担い手の育成・確保を図ります。

^{*8} 6次産業化：農業者が農産物の生産（1次産業）に加え、加工（2次産業）や流通・販売（3次産業）にも主体的にかかわり、農業経営に新たな付加価値を取り込むことです。

【基本施策】

基本施策3－1 産業の育成・支援

基本施策3－2 多様な就業環境の充実

【数値目標】

指標名	現状	目標
市内の民営事業所数	1, 435事業所 (平成26年)	1, 470事業所 (計画終了時)
市内民営事業所の従業者数	13, 956人 (平成26年)	16, 100人 (計画終了時)

基本施策３－１ 産業の育成・支援

【基本施策の方向性】

地域の産業振興を図るため、事業者、農業者、商工会等と連携して、特産品の開発や６次産業化の推進などに努めます。

【主な施策と取組】

施策名	施策の概要と主な取組	
産業の育成支援	農地の流動化による経営規模の拡大や６次産業化の推進などにより、農業の振興を図るとともに、企業や大学等と連携し、本市の農作物等を活用した特産品の開発等を行います。 また、企業との多様な連携を図り、互いの強みを生かしてまちづくりに協働して取り組むとともに、市内企業を積極的に支援します。	
	主な取組	○特産品の開発 ○６次産業化の推進 ○企業連携の推進

【重要業績評価指標（ＫＰＩ）】

指標名	現在値	目標値
企業との連携事業数（５年間の延べ数）	０件（新規の取組）	１５件

基本施策３－２ 多様な就業環境の充実

【基本施策の方向性】

圏央道の開通による高い交通利便性を活かし、新たな産業系土地利用による雇用の創出や民間事業者等との連携による就業支援を推進し、就業機会の充実に努めます。

【主な施策と取組】

施策名	施策の概要と主な取組	
新たな土地利用による産業基盤の整備	圏央道の開通による高い交通利便性を活かし、幹線道路の沿道における新たな土地利用の検討を行うなど、産業基盤の整備を進めることで若者や女性の雇用の場の創出を図ります。	
	主な取組	○産業系土地利用の検討 ○企業誘致の推進
市民の就業支援	市民の雇用の安定のため、ハローワークと連携した就業支援の充実に図ります。また、企業、大学及び高校との連携により若者の就業支援を進めます。	
	主な取組	○関係機関等と連携した就業支援の実施

【重要業績評価指標（KPI）】

指標名	現在値	目標値
就業支援事業に参加した人の数 （５年間の延べ人数）	９７人 （平成２７年度）	５００人

基本目標 4 市民満足度の向上を図り地域への愛着を深める

【基本的な方向】

本市は、東京都やさいたま市で働く人のベッドタウンとして多くの人が市内に転入してきたことにより発展してきましたが、今後も人口を維持していくためには、市外への転出の抑制やU・I・Jターンの促進などが必要となります。

そこで、市の魅力を発掘し、市内外に効果的に発信することで市民の市に対する愛着を深めて市民満足度と参画意欲の向上を図ります。

また、これにより、市民協働の推進と地域活動の活性化を促進します。

【基本施策】

基本施策4-1 市の魅力の発信

基本施策4-2 市民参画による市民の市への愛着の向上

【数値目標】

指標名	現状	目標
人口の社会増減数*8(5年間の年平均)	257人 (平成22年度から26年度の年平均)	260人
白岡市に住みたいと考えている人の割合	59% (将来設計に関するアンケート調査)	67%

*8 人口の社会増減数：1年間に市内へ転入してきた者の数から市外へ転出した者の数の差のこと。

基本施策４－１ 市の魅力の発信

【基本施策の方向性】

市が有する魅力を発掘するとともに、市内・外に効果的に発信し、市の知名度と市民満足度の向上を図ります。

【主な施策と取組】

施策名	施策の概要と主な取組	
シティプロモーションの推進	市の魅力を効果的に発信するため、市ホームページの充実やソーシャルネットワーキングサービス（SNS）の活用などにより、情報の発信力の強化を図るとともに、市民、企業、大学等との協働により、マスコットキャラクターを有効活用するための方策の検討を行います。 また、市内の農家や事業者等との連携・協力により、ふるさと納税制度のさらなる充実を図り、市外に向けた市の魅力の発信を行います。	
	主な取組	○マスコットキャラクターを活用したプロモーションの検討 ○白岡市ふるさと納税の有効活用 ○市公式ホームページの充実 ○SNSの活用の検討

【重要業績評価指標（KPI）】

指標名	現在値	目標値
年間のふるさと納税の件数	1, 571件 (平成27年10月時点)	3, 000件
年間の市公式ホームページへのアクセス件数	396, 634件 (平成26年度)	560, 000件

基本施策４－２ 市民参画による市民の市への愛着の向上

【基本施策の方向性】

市民協働や市民参画を促進し、市に対する市民の愛着の向上を図ります。また、地域活動の活性化や郷土教育の推進を図り、より多くの子供が市に誇りを持って成長できるよう努めます。

【主な施策と取組】

施策名	施策の概要と主な取組	
市民の愛着の向上	市民の主体的なまちづくりへの支援を積極的に行い、市民が、自分の住む地域のことを考え、行動を起こす市民協働や市民参画を推進することにより、市に対する市民の愛着の醸成を図ります。 特に、シニア世代の市民が積極的に地域活動に参加し、その知識や経験を地域の課題解決に生かしてもらえよう、市民活動やボランティアなどに関する情報の提供に努めます。 また、市の歴史を知る機会を増やすとともに、自然観察や農業体験などの体験学習の充実を図り、子供たちに白岡の歴史や自然などを伝え、将来を担う子供たちの郷土愛を育みます。	
	主な取組	○協働のまちづくりモデル事業の推進 ○生涯学習事業（ペアーズアカデミー、学校開放講座等）の推進
市民の交流	地域の賑わい、防災対策等の拠点となる集会所等の整備の支援を行い、地域連携の強化と地域活動の活性化を図ります。 市外に転出した市出身者と市民の交流機会の創出、文化活動や市民スポーツの推進を図り、世代間又は同世代の市民の交流に努めます。 また、圏央道の開通による交通利便性の向上を活かし、圏央道の沿線市町村の市民、行政、企業等との交流の促進を図ります。	

【重要業績評価指標（KPI）】

指標名	現在値	目標値
市民との協働により実施している市の事業数	43事業 (平成26年度)	50事業
市民サポーター登録人数	0人 (平成27年10月時点)	100人
協働のまちづくりモデル事業の延べ実施事業数	6事業 (平成27年度時点)	18事業